



今月のみさとし/真の信仰は人よりもより多く勤め、人よりもよく養生して、正しき清き生活をするのである。(『尊者のご遺文』100頁)

スタディツアー 2022 in 東北

未来へのちをつなぐ

3月2日から6日の4泊5日の日程で、青年本部が主催する「スタディツアー 2022 in 東北」が開催され、田中智宏青年副本部長を団長に全国の青年部員ら15名が参加した。



3月5日、石巻市・長浜緑地広場にて東北第2教区の皆様のご多大なるご支援のもとに震災慰霊供養を厳修



南三陸ホテル観洋にて佐藤誠悦氏によるご講演



南三陸大仏にて世界人類怨親平等供養を厳修



当時の状況を語る佐藤敏郎氏(右)

今回のツアーは、例年行っていたマンマー・スタディツアーのマンマー国内の政情不安による中止に伴い、NPO法人「ジャパンハート」の被災地に思いを寄せる活動に倣い、貴重な学びの場として国内初のスタディツアーが東北にて実現した。

2日、御霊地にて結団式を行い、岡野英夫理事長より激励のご挨拶を頂いた後、宮城県南三陸町へ移動。宿泊先である南三陸ホテル観洋にて佐藤誠悦氏(元南三陸消防署副署長)よりご講演を頂き、奥様を亡くされた深い悲しみの中での救済活動の体験や日々の防災意識を持つ大切さなどを学んだ。

翌3日はホテルより徒歩で移動し、震災伝承施設に登録されている「海に見える命の森」で階段作りや木々の剪定の手伝いなどのボランティア活動を行った。その後、同敷地内にあるマ

ンマーから東日本大震災慰霊の為に寄贈された南三陸大仏前にて、マンマーに思いを馳せて平和祈願の供養を行った。続いて、眼下に海を望む「津波でんでんこ」石碑前にて天茶の撒き供養を行った。

4日はホテルの語り部バスツアーに参加した後、南三陸町震災復興祈念公園へ移動し、旧防災庁舎前にて献花と黙祷を捧げた。その後、石巻市内へ移動し、吉浜小学校跡地の震災慰霊碑にて真心からの天茶の撒き供養を行った後、大川小学校にて語り部の大川伝承の会・佐藤敏郎氏より、震災発生時の教員と生徒の状況や、娘さんが犠牲となってから現在に至るまでの心の葛藤などを伺った。その後、献花と黙祷を捧げた。

5日は、東北第2教区協力のもと、長浜緑地広場にて慰霊式典を行った。拝礼行事の後、ツアー団より手作り花と

全国各ブロックより寄せられた千羽鶴を捧げ、海へ天茶の撒き供養、般若心経11巻を厳修。終了後には交流会を行った。

6日は早朝より御霊地に移動し解団式。全国の青年講座会場をリモートで繋ぎ、団長帰着挨拶、参加者の感想発表の後、全国の仲間と共に震災慰霊供養と世界人類怨親平等供養を行った。

参加者から「生きるためには、判断と行動を早くしていくこと、自分の命は自分で守る大切さを感じた」「学んだことを自分だけのものにせず、沢山の人の伝えていきたい」「辛い、悲しいといった感情を乗り越え、命を繋ぐための希望の防災として向き合いたい」などの声が聞かれた。

今後、参加者はこのツアーで体験して得た学びを、全国青年部員と活動を通して共有していく。

解脱鍊心館・創立50周年記念館内大会

すべての人の努力の結晶

麗らかな日和に恵まれた3月13日、解脱鍊心館にて創立50周年記念館内大会が開催された。本部より岡野英夫理事長はじめ役員らと、同館創立当初よりの指導者など多数の来賓が列席する中、50周年という大きな節目とこの春に卒業する門下生たちの門出を共に祝った。

午前9時開会。まずは初代館長・早川啓記氏、2代目館長・岡野正氏はじめ同館を支えてきた物故者へ黙祷が捧げられた。その後、岡野理事長が祝辞に立ち、「国家を背負い立つ人材育成は何にも増して重要な課題」と述べ、同館で育った子供たちが鍛え上げた精神を発揮し、美しい社会づくりに貢献していくことを期待した。続いて田中宏明館長(御霊地局長)は、



祝辞を述べる岡野理事長

たった5名の門下生から始まった同館の歴史を顧み、特に30周年より「日本一の道場」という夢を掲げ、今や県内外に誇る道場となったことに「関わったすべての人のひたむきな努力の結晶として今日の解脱鍊心館がある」と篤く謝意を述べた。休憩後、創立50周年記念特別DVDを上映。50年の歩みと歴代門下生の活躍をまとめた30分強のDVDは、今年発刊予定の記念誌の付録として配布さ



日本一を目指し、日々鍛錬を積んできた門下生と保護者

れるという。続いて、このたび少年部を卒業する中学3年生が紹介され、代表して第50代大将の田中隆斗さんが感謝の言葉を述べ、途中、涙に声を詰まらせる場面もあった。その後、少年部大将交代式として現大将から新大将の柳瑠里さんへ木刀が手渡された。最後に門下生らより田中館長、岡野理事長はじめ来賓の方々へ感謝の花束が贈呈され、万歳三唱をもって閉会した。

本部研修・教区修法担当員研修

修法担当員として教区・支部を活性化



本部主催の教区修法担当員研修が、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら圏域ごとに開催された。2月20日に東京圏域が本部道場にて=写真左=、3月6日に東北・北関東圏域が御霊地・解脱研修センターにて=写真右=それぞれ



行い、修法担当員合計20名が参加した。午前10時開講。東京圏域は田村和彦常任理事が、東北・北関東圏域は福澤文雄指導員が開講挨拶に立った。続いて、大賀光夫修法部長から「修法担当員の役目について」、岩田始修法部次長から「修

法担当員の活動について」の講義が行われ、休憩の後、宮崎順史修法部職員から「御五法修業の目的について」の講義があり、担当員としての役割を再確認した。

昼食後は、班毎に実修を行い、仲介者を補助し指導する「トレーナー」などの役割を学んだ。最後に東京圏域は大賀修法部長、東北・北関東圏域は倉田正治理事の閉講挨拶をもって終了となった。

参加者から「教区また支部の活性化につなげていくことの大切さを再確認できた」「自己を確認することで自分を改善し、日々の生活においても実践していくことが必要であると感じた」といった感想が聞かれるなど、各自が教区、支部で御五法修業がより実践されるように活動する意識を新たにしました。

津之守弁財天・春祭

更なる発展を願う



晴天の中、3月1日正午より、本部道場報恩日行事に先立ち、金剛さまがご在世中を含め古くから四ツ谷荒木町周辺の守護神として崇敬を集める津之守弁財天において、春祭が執り行われた。

当日は、町会関係、首都圏会員が参列し、服部宇之輔常任理事が祝詞奏上。続いて、服部宇之輔常任理事、稲子知義崇敬会会長、地元町会関係者による玉串奉奠が行われ、日頃の感謝を申し上げるとともに、地域の発展を祈念した。

祭典終了後は、参加者は引き続いて金丸稲荷神社を参拝した。

神明稲荷・初午祭

感謝の祈りを捧げる

関東地方で昨年より1ヵ月遅く春一番が吹いたと発表される中、3月5日、北本スポーツセンター内の敷地に鎮座する神明稲荷初午祭が執り行われた。今年も、昨年同様新型



コロナウイルス感染症対策のため、御霊地管理部長をはじめ御霊地職員のみで斎行され、直会は見送られた。

午前11時に開式。北本氷川神社の吉田和生宮司により祭事が営まれ、日頃の御加護に感謝の祈りが捧げられた。

東京第4教区・支部幹事研修会

オンラインで意識を共有化



大岡山支部にて

東京第4教区では2月20日、「後継者の育成」をテーマに「支部幹事研修会」を行い、当日は各支部および各支部幹事の自宅をオンラインで結んで52名が参加した。

当日は、宮崎達郎教区長が教区活動方針を述べた後、2名が体験発表。まず子供3人を青年部活動へ導いた女性会員が、家庭で実践する大切さを話した。次に、奥様から教えに導かれた男性会員が夫婦で邁進している幸せについて述べた。その後、各支部代表幹事が支部活動方針の発表と続いた。参加者は、支部から会員へのサポートの大切さや、解脱会員の教えに対する熱意、人を思いやる重要性を改めて認識した。なお後日、当研修会の内容を感謝会等で各支部が発表して会員が意識の共有化を図ると共に、研修に欠席した幹事へはYouTubeを通して限定配信を行った。

名古屋第2教区・幹事研修会

コロナ禍社会に新たな模索



名古屋第2教区では2月20日、本部より服部宇之輔指導員が出講して教区支部幹事研修会を中部道場にて開催した。当研修会の目的は、「各支部幹事が一堂に会し、家族・支部会員の法縁のつなぎ役として支部の現状を見つめなおす。そして本部布教活動方針、教区、支部活動目標をコロナ禍社会の日常に新たに生かす発想を模索すること」。参加者は、新型コロナ蔓延防止重点処置期間中での各支部長の協力に対して感謝する一方、開催の是非が問われるのを覚悟して臨んだ。

研修会では、原誠之助教区長より教区活動目標が示された後、服部指導員が、支部長を補佐しながらの支部立て直しと活動目標の達成を強調。さらに参加者は、コロナ禍で学びをつなぐために作成された活動資料の説明を受けた後、アンケートを記載しながら今後の教区・支部活動に向けて意識を共有した。

中野支部五柱五成神社・初午祭

地域社会を代表するお祭り

中野支部の御守護神でもある五柱五成神社の初午祭が年3月13日、午前11時より行われた。

コロナ禍のもと、3年目となった今年の初午祭は、感染拡大の状況を鑑み通常の祭典は行わず、地元氷川神社宮司を迎え、稲子知義五柱五成神社齋主をはじめ廣川貞雄五柱五成神社奉賛会長、石井好正東京第3教区長、稲子喜之中野支部長、

地元の町会長や区議会議員の他、神社関係者らを中心に昨年に引き続き神事のみ齋行となった。

金剛さまが御自ら神札を授けられ、「日限りのいなり」と言われる当社の初午祭は、「五柱さんの初午祭」として地元の皆さんから大変親しまれ、地域社会を代表するお祭りになっている。来年の初午祭は、新型コロナウイルス感染も収束し、

支部会員・教区、地元町会や商店会などの協力を得たこれまで通りのにぎやかな祭典が行われることが願われている。



皇居勤労奉仕 募集のおしらせ

有志を募り、本会として皇居勤労奉仕団を編成し、奉仕させていただきます。つきましては、参加希望の方は所属支部長の許可を得た上でお申し込みください。

【募集要項】

- 参加資格 自分の健康に責任をもち、4日間続けて奉仕できる満15歳～75歳の方
- 日 程 令和4年10月17日(月)～20日(木)《第一候補日》
- 作業時間 8時30分～15時30分(8時15分皇居参入)
- 作業場所 皇居、及び赤坂御用地 ○募集人数 12名～30名
- 締め切り 令和4年4月15日(金)
※12名に満たない場合はメ切を延長する場合があります。
- 費用 勤労奉仕初日に集金5,000円(昼食弁当代、記念写真代を含みます。宿泊代、及び宿泊地より作業場所までの交通費は自己負担となります)
※宮内庁の抽選に外れた場合は見送りとなりますのでご了承ください。



申し込み・お問い合わせ先
解脱会 教育部研修係
TEL 03-3353-3667 (教育部直通)
FAX 03-3353-3708 (教務局共通)

第180回春季大祭

大祭は、会祖解脱金剛尊が「人生最尊の行事」として定められ、会員一人ひとりが主催者となって執り行わせていただく感謝の祭典です。新型コロナウイルス感染症を講じながら、今回は人数制限を設けず斎行します。

- 日程 5月6日(金) 9:30 奉告祭
10:45 萬部御法楽
7日(土) 12:00 大祭式典(ライブ配信有)
8日(日) 12:00 大祭本祭(ライブ配信有)

※開式は正午です。例年とは異なりますのでご注意ください。

- 諸施設の開場・開館時刻 御霊地道場、会員休憩所：7時
解脱研修センタービル：6時
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、御霊地施設の宿泊受付は行いません。

●参加教区

- 7日 新潟、群馬、東京第4、東京第5、東京第6、東京第7、神奈川、静岡、北陸、滋賀、京都、大阪、和歌山、神戸、兵庫
- 8日 北海道道東、北海道道南、東北第1、東北第2、埼玉、甲信、茨城、千葉、東京第1、東京第2、東京第3、愛知、名古屋第1、名古屋第2、中国第1、中国第2、四国東、四国西、九州、沖縄



群馬教区大会 開催のお知らせ

吉岡秀人先生講演会

ジャパンハート最高顧問の吉岡秀人先生をお迎えして行われる群馬教区大会の様子がライブ配信されます。

当日は、貧困地域において無償で医療を提供し続けている吉岡先生のご講演、またカンボジアとオンラインで繋ぎ、元気溢れる現地の子供たちの笑顔も見られます。



期日 4月24日(日) 9:30～13:00(予定)

配信URL 解脱会ホームページ会員専用ページに告知

お問い合わせ 荒木友充群馬教区長 Tel 0278-72-4744

金剛香・天茶 好評発売中



解脱会オリジナルのお線香「金剛香・天茶」の紹介です。「金剛香・天茶」は原材料に尊い天茶を練り込み、「煙が少なく品のある香り」と発売当初から好評を得ています。朝夕の勤行やお彼岸のお墓参りなどにぜひご利用ください。

徳用サイズのみ 定価 1,100円(税込)

- お問い合わせ、ご購入は解脱会事業部まで
☎ 03-3353-2191 Email soumubu@gedatsu.or.jp

LINE公式アカウント

解脱会の公式LINE(ライン)アカウント受付中です。ホームページの更新やライブ配信の情報が受け取れますので是非、登録をお願いします。

■登録方法

LINEアプリを開き、カメラ・QRコードリーダーで左のQRコードを読みとり、リンクを開いて「追加」をクリックします。

※登録後、リスト作成、管理するためトーク画面に「支部名・お名前」の書き込みをお願いします。



パスワード変更のお知らせ

令和4年4月1日～令和4年8月末日

ホームページの会員専用パスワードを変更しました。新しいパスワードは、各支部へ送られる本部通信に封入、記載しておりますので支部にお尋ねください。



解脱会ホームページ
QRコード
www.gedatsukai.org

